



行政書士

わかやま



発行所 和歌山県行政書士会
発行日 平成30年5月20日
640-8155
和歌山市九番丁1番地(中谷ビル2F)
TEL 073-432-9775・FAX 073-432-9787
E-mail waka_gyosei@galaxy.ocn.ne.jp
URL <http://www.g-wakayama.org/>



会長あいさつ

和歌山県行政書士会
会長 笠野 義二

会員の皆様には業務に精励の事とお慶び申し上げます。

早いもので、平成30年も5月に入りました。時の移り行くのが本当に早く感じられ、人生の機微を味わう暇も無く、追い立てられ、いたずらに一日一日が過ぎて行くように思われます。

我々の行政書士業務に大きな影響があると考えられているAI(人工頭脳)の普及であります。2030年、約12年後位には確かな形となって我々の前に立ちはだかると不安視されているのが現状。兎にも角にも近い将来に現実となって行政書士業務の遂行に少なからず影響を与えるだろう。

さて、どうすれば我々は生き残れるのか?多分誰も明確な対応策を持ち合わせていないと思われる。当然であるが、国民の利便に資する行政書士であるとするならばAIを敵にしては多分勝ち目がないと思われる点を考慮すれば、味方にして活用する方法ではないように思うが、浅はかか。更には日本の人口が減少している。それもかなり早い速度で進行して

「高野の火まつり」撮影;伊都支部 上鶴弘志
いる。その証拠に2017年の一年間で約38万の減少。丁度和歌山市の人口である。この事実も脅威である。日本の人口が現在約1億2千万人であるらしいが、32年後の2050年には約9,000万人になると予想されている。約3分の1が減少する計算である。

色々な分野に影響が出るだろう。現に空き家、所在者不明の土地が深刻さを増している。しかし、この分野には我々行政書士も貢献できる余地がありそうである。

業務拡充以外に我々の生きる道はない。

会員の皆様には健康に留意され、行政書士会の発展の為に一人一人が創意工夫をして頑張ろうではありませんか!!

勿論小職を始め、役員全員もそれ以上の努力を傾注して取り組んで行きたいと思えます。

